



とつか
2017年3月会報 第269号

- 2016 国際会長(IP) Joan Wilson (カナダ)
主 題 “Our Future Begins Today” 「私たちの未来は、今日から始まる」
スローガン 「手を取り合えば、もっと多くのことができる」
アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao (台湾)
主 題 “Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」
スローガン 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」
東日本区理事 (RD) 利根川 恵子 (川 越)
主 題 「明日に向かって、今日動こう」 “For the Future, Act Today!”
2017 スローガン 「手を取り合って、今、行動！」 “Together, Let's Roll Now!”
湘南・沖縄部部長 若木 一美 (横浜とつか)
「あなたが退会しない理由は？」 ～明るく・楽しく・元気よく～
クラブ会長 浦出 昭吉 「初心に帰ろう、グッドスタンディング目指して」
副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 小俣 妙子
主 題 ネット事業 吉原 和子 担当主事 長田 光玄

江戸のおもかげを残す
川越

これまでの20年
温故知人
明日に向かって新しい出合いを
ワイズメンズクラブ国際協会
第20回 東日本区大会
2017年6月3(土)・4(日)
会場：ウエスタ川越

ホストクラブ：川越ワイズメンズクラブ
協力クラブ：埼玉・所沢 各ワイズメンズクラブ
後 援：川越市
川越商工会議所(社)小江戸川越観光協会
(公財)埼玉YMCA



会長ひと言 浦出 昭吉

～ちょっともんだい カジノ解禁～

昨年(2016年)の12月14日、カジノに注ぎ込むため複数の子会社から106億円を借り入れ、見事散財し、会社法違反に問われたあの大王製紙の元社長が刑期を終え仮出所したそうです。

翌15日未明、国会は与党公明党の自主投票という異常事態の中、自民党と日本維新の会の賛成多数でいわゆるカジノ解禁法案を成立させ、ようやく大手を振ってカジノ実施に着手するそうですが、ついて回る話は中国の景気低迷と習近平体制の締め付けで、当てにしている中国人観光客が減少し、既にマカオでも、また韓国でも採算が取れていないという話しのさなか、せっかく新しい観光資源で外国人の人たちを日本に呼び込もうという本来景気のいい話のはずが、このカジノ解禁話しはどこをつついても氣勢の上まらない湿っぽい話題ばかりが聞こえているようです。国内に展開するカジノ第一号か二号になるのか存じませんが、まず横浜でとばかりに市長も民間も張り切っているようで、完成の暁にはニコニコするのはアメリカからやってくるカジノ運送会社のみで、肝心の地元では新たな貧乏人も出たりで、結局はあの戦後のみじめさを思い起こさせ・味わわせるのでは…と懸念するのは、独り私だけではなさそうだと考えますが、皆さまはいかが…

『カジノと掛けて水たまりと解く、避けて通る方が無難です。』

◎今月の聖句◎

あなたがたは、以前には暗闇(くらやみ)でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい。
-エフェソの信徒の手紙 5章8節-

今月は年度の区切りを迎える月、1年前に比べ大分違ったと思いますか。「光」はまっすぐ進むもの、それが「真実」にもつながります。「自分の気持ちに素直であること」、そのことがひいては「自信」につながります。…そして、それが「輝き」になるのです。

強調月間 BF・メネット

‘BF’、‘Brotherhood Fund’の略。BF代表や国際役員が公式の旅行をするために積み立てられる基金をいい、全ワイズメンの参加により、使用済み切手を集め・整理して切手市場で換金する方法が主力だったが、市場価格の低迷により、次第に現金による拠出が増えつつある。

‘メネット’、‘Y's Menettes’の略で、男性会員のパートナーを指す。メネットの運営は、「東日本区ワイズメネット委員会」により行われている。東日本区定款第3条第6項に詳細な規定がある。近年、会員増強の観点から、メネットがメンに登録替える傾向にある。

2月在籍者数			2月出席者数			出席率	ファンド	B	F	B	F	CS・TOF・Y	E	S	ロ	バ
メ	ン	13	メ	ン	10	85%	他	(円)	(g)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
メ	ネット	9	メ	ネット	3		前月迄		0	0	0	0	0	0	0	0
			ゲストら	3		当 月		0	0	0	0	0	0	0	12,000	12,000
計		22	合 計	16		累 計		0	0	0	0	0	0	0	12,000	12,000

☆第1・2例会報告☆ ～メイン：‘BF代表としてオーストラリア各地を訪問して’～

浦出 昭吉

日時： 2017年2月21日(火) 18:30～20:00
 場所： 湘南とつかYMCA 1階ホール(司会：小俣ワイズ)
 出席者：(ビジター) 小山久恵・小山憲彦 (東京サンライズ)
 (メン) 有田・浦出・長田・加藤・小俣・佐藤・鈴木・土方・吉原・若木
 (メネット) 加藤・吉原
 (指導) 瀬戸 俊孝ウエルネス主任 計) 15名

2月例会は、日程の都合で21日(火)の第2例会日に開催されました。しかし標題にあるようにゲストスピーカー付きの、さらに ウェルネスアワーもあつての本格的な例会でした。

それと TOF 月ながらお弁当も出て その分各自が献金するという…いかにもとつからしいクラブ運営を実施しました。

開会セレモニーの後は早速ウェルネスアワー、テキストも配布されて、まずは座学…、コグニサイズの意味や図解付きの説明があつてから 準備されたスペースコーナーへ…。コグニステップやコグニラダー…と、拍手とため息の聞こえる中、体の内が温まる時分には終り、元の席に戻りました。

いつものことながら、今月はオキナワみやげも加わっていっそう賑やかで結構な差し入れが相次ぎ、お腹も十分に満足した頃にメインの卓話となりました。

小山さんは、既に20カ所以上にわたり報告会を開催してこられたので DVD の操作も堂に入ったもの、また 内容そのものの

説明も明快、聞いていて誠に気持ちが良い。

あの広い大陸のどの辺りを重点的に訪問されたのか…、が先ず私たちの関心の的になっていたようですが、大陸の南東部サウス・パシフィック・エリア、その辺りで最大のクラブは、ベンディゴクラブと言うんだそうです。加藤ワイズが理事の時の国際会長がそこのクラブ出身と言われ、急に親近感が湧いてきました。その名をアーサー・カウリングさんと言ったのだそうですが、やはりもういらっしゃらないようでした。たっぷり 40分のまことに興味深い内容のひと時でした。

諸連絡事項(下欄)、ハッピーバースデー、全員ひと言、ロバ、そして記念撮影のあと、連れ立って第二会場へと向かいました。



☆交流大会余韻(分)☆

加藤 利榮

東西交流会は次ページにあるように、大きな成果を挙げて終わりましたが、1,2補足する意味で以下に記してみました。

1) 夕食懇親会の折に‘乾杯を…’と実行委員長から依頼され



ていたので ちょっと洒落て一句まじえて音頭を…とっていました。その句、“落葉焚いて春立つ庭や東山荘”、その日は‘立春’、元の句は‘東山荘’でなく‘知恩院’(虚子)ですが…。

それと、例の‘掛けことば’、“ここにお集まりの皆さん全員と掛けて…”をやろうと思ったのですが…。(実際には前置きが長くなるのでやめました…。)

2) ‘せっかくの機会なのでミニDBC交流を…’と思いながら、

名古屋から見えている筈のグランパスのお二人を夕食会の席上探しましたが会えません、そしてようやく翌日の昼食の時に会いできて…がこの1枚の写真、荒川恭次さんとは長野大会以来、吉田一誠さんとはカナダ・フレデリクトンでの96年国際大会以来(?)でした。‘よき友 仲間!’



3) 今回忘れられないのは、本館玄関に入ったときから翌日の午後拙宅でお別れするまで、クラブの有田征彦さんには言い尽くせぬお世話をお掛けしました、有り難うございました。

☆第2例会報告☆

小俣 妙子

日時： 2017年2月21日(火) 20:00～20:30

場所： 湘南とつかYMCA 1階ホール

出席者： 有田・浦出・長田・加藤(2)・小俣・佐藤・鈴木・土方・吉原(2)・若木 計) 12名

報告：

- ① 東西日本区交流会：2/4～5・東山荘(別掲)
- ② 部長沖縄2クラブ公式訪問：2/18～19(別掲)
- ③ YMCA 会員大会：2/11(別掲)
- ④ TOF 献金を実施：2/21(別掲)
- ⑤ ピンクシャツデー：2/22・当日はYMCA 職員を中心に、服装等にピンクの表示を付ける。
- ⑥ 次期会長研修会：3/4～5・東山荘(浦出・加藤の両ワイズが参加の予定、ただし例会の関係で初日のみ)
- ⑦ 湘南とつかYMCA コンサートと街頭募金：3/5
 午前中：‘すずめ踊り’と街頭募金
 午後：コンサート(チケットは小俣ワイズまで)

協議

- ① 第76回Y-Ys協議会：3/7(浦出・加藤・若木の3ワイズが出席予定)
 - ② 鎌倉クラブ創立25周年式典：3/25・13:30～
 鎌倉社会福祉会館(記念誌への投稿歓迎)
 - ③ 第2例会：3/21 18:30～・201号室
- その他：

3月号会報用原稿をそれぞれの担当者に依頼した。

☆第2回東西日本区交流会から☆

加藤 利榮

日時：2017年2月4日(土)14:00~5日(日)12:00

会場：国際青少年センター 東山荘

大会テーマ：語ろう！未来につなぐワイズスピリットを！

参加者：東日本区188名・西日本区171名・台湾区11名
計 370名

日本区が1997年に東西に分かれて20年目を迎えたのを機に12年ぶりに開かれた東西交流会、前回の悪天候とは打って変わっての上天気にも恵まれ、利根川理事の開会点鐘に始まった開会式から翌日正午の閉会式まで、5部に分かれた水も漏らさぬ完璧な大会運営に、ただ脱帽した2日間でした。

以下、特に印象に残ったプログラムから、2つ、3つ 略記してみました。

①講演「YMCAのブランディングとワイズ」

同盟理事 中道 基夫さん(第1部 開会式・講演)

『YMCAの事業がキャンプ・水泳・専門学校・保育・介護…など多様化し、加えて35の都市YMCAが個々に事業展開するのを見て世間ではYMCAやワイズメンズクラブが何をやっているのか見え難くなっている昨今、何か一つのロゴでYMCAと言えばあああれか…と理解できるようなブランドを開発したい、それがいわば‘ポジティブネット’ともいうべき概念である…。』と。

② 交流プログラム「LT/LD」(第2部 交流プログラム)



「LT/LDはEMCへの道」とのキャッチフレーズで始まったこのプログラム、こちらは伊藤LT委員長、そして西からは

船木リーダーシップ開発委員長、お隣には38代理事の森田さんが、そして筋向いに厚木の北村さん…と‘こうりゅう’に事欠きません。初めに名刺代わりにと配られたご自分の用紙に交互に氏名をサイン…。本題に入り、いずれも日本区時代に森田さんの発案でアカデミー委員会の名で発足した会員研修が姿・形を変えて今日に及んだが、詰まるところはEMCへの序奏であろうということに…。短時間ながら、中味の濃いひと時でした。

③ 夕食懇親会(第3部 18:45~ 体育館)

会場を体育館に移しほぼ定刻に始まった夕食懇親会、立食形式ながら370名が一堂に会するとなると 壮観！ワイズの大会らしいムードが溢れ、幾度となく舞台上に上げていただいたりの少々忙しいひと時でもありました。



☆横浜 YMCA 会員大会開かれる☆

若木 一美

第3回YMCA会員大会が無事終了しました。維持会員増強事業を契機として始まり、今年も加藤・小俣・若木、それにとつクラブにお馴染みの金石万希さんが加わる会員事業委員会が主管し、湘南とつクラブYMCAで開催されました。



基調講演は、十数年前の12歳の時にポートピープルとして救助され 難民として家族と来日、ご苦労の末、現在はYMCAの幼稚園や区役所の外国人相談窓口などで通訳を務めるトルオン・ティ・トゥイ・チャンさんから、今、アフリカや中東の国々が、同じような目に遭っている多くの子どもたちを受け入れる国を求めている現状にもっと目を向けて…と。私たちには 他人事では済まされないひと時でした。

午後は、いくつかの事業の報告・展示、ゲームやクイズ体験、うたごえ広場、野菜の即売、フードコーナー等々、多彩な催しが建物全体を使って賑々しく開かれておりました。

訪れた人はおよそ400名、私は終日、湘南・沖繩部部長として1階ホールのワイズ展示コーナーに…。皆さんの反応は今ひとつ。また、ご自分に関心のあるイベントやプログラムに…という人も増えているようなので、そうした取組みも必要と感じた次第です。



☆30年目の沖繩訪問に☆

加藤 利榮



今期 若木部長の沖繩公式訪問は2月18・19の1泊2日にわたり11名が参加して行われました。私にとって沖繩行きは30年目、2002年の沖繩での東日本区大会の折には

その準備のために3、4回ほど訪れているので、回数からすれば優に30回以上ということになりそうです。閑話休題、まず、第一日目の16時30分から、沖繩クラブと京都トゥーピークラブとのDBC締結確認式が那覇市内のホテルで開かれ、写真にあるように確認書を取り交わし、無事終了しました。

引き続き、18時30分から沖繩YMCA会館で開かれた那覇クラブの例会に参加、知念一郎理事長から奨励を頂き、若木部長と菊地会員増強事業主任からご挨拶があって、一同記念撮影に収まって例会を終わり、懇親夕食会に移りました。大森ワイズの食前の祈り、そして指名されて私から乾杯の発声で、一転、華やいだムードのうちに交流に入り、すでにおなじみの諸君と杯を交わしながらのひと時を過ごしました。

二日目は、8名ほどが屋良会長らのスケジュールに乗る形で、晴れ渡った沖繩の一日を心ゆくまで楽しませていただき、訪問の旅を終えました。



☆YMCA だより☆

施設長・担当主事 長田 光玄

～多くの人に支えられた踊場地区センターまつり～

2月5日(日) 横浜市踊場地区センターまつりを実施しました。爽やかな青空の中、実行委員長の掛け声で10:00にスタート、駐車場では「焼きそば・お餅・豚汁・カレー・おでん…」など、「うまいもんコーナー」として美味しい物だけでなく笑顔もいっぱい振りまいていただきました。体育室のステージでは近隣の小・中学校と高校の児童、生徒による合唱や合奏などの発表が行われ、地域の方々の気持ちを‘ほっこり’させてくれました。午後から少し雨が降りましたが、2,000人近い方の来場となりました。今年は近隣の企業・団体・個人の方々に協力を仰ぎ、多くの賞品が用意できました。地域の方々に強力なサポートをいただき改めて地区センターとしての意義を感じることができました。抽選会の後には、横浜FCシーガルズの選手も来館いただきメッセージをいただきました。より良いセンターまつりになるよう次年度に向けてスタートします!!



☆3月・4月のこよみ☆

- 3/4・5 次期会長研修会：東山荘（浦出・加藤ワイズ参加）
- 3/4(土) 第1例会：湘南とつかYMCA 18:30～
- 3/5(日) 湘南とつかYMCA ‘花を贈ろう’ 街頭募金とコンサート
- 3/7(火) Y-Y's 協議会(76回)：関内中央YMCA・19時～
- 3/21(火) 第2例会：湘南とつかYMCA・201号室 18:30～
- 3/25(土) 鎌倉クラブ25周年記念式：鎌倉社会福祉会館
- 3/27(月) 湘南とつかYMCA 運営委員会：とつかY・18:30～
- 4/15(土) たけのこ例会：吉原邸・11:00～

～3月会合のご案内～

- 3月4日(土) 第1例会 とつかY 404号室
18:30～20:30
- ◇ 紙工芸教室：講師：若木 祥子メネット
- 3月21日(火) 第2例会 とつかY 201号室
18:30～20:00

～HAPPY BIRTHDAY～

長田 光玄さん 3月19日
吉原 訓さん 3月27日

【緊急通信】

竹内 敏朗さんをご逝去されました。

謹んで哀悼の意を表しますとともにご家族ご一同様の
一層のご平安をお祈り申し上げます。

平成29年2月24日
会長 浦出昭吉



弔

竹内さんの訃報に接し 息を呑み 一瞬 声を失ったのは
あながち 独り私だけではないと思います。

一家の大黒柱が 突然 音もなく倒れたような気持ちに襲
われました。

先だつての東西交流会の席上、大阪の谷川 寛さんは
しきりと あなたに会いたがっていらしたのに…。

この上は これからも一段高い所から いつものように
私たちを叱咤激励してください。

「タクさんは私たち誰にとってもずっと憧憬の的であ
った。また今後もそうあり続ける。」

(元国際書記 イングバー ワリン氏のコトバから)

2017年2月24日
加藤 利榮

☆今月の歳時記から☆

‘残雪 ざんせつ’ と ‘土筆 つくし’

‘残雪’、春になっても北に面した庭や山の岩陰・木陰など
に なお消えずに残っている雪（古雪）を指して言いますが、
北国では 残雪の期間がかなり長く 遠くの連峰の残雪は、
初夏の辺りまで残ることが多い。別に ‘去年（こぞ）の雪’
‘残る雪’ ‘雪残る’ ‘陰雪’ などと呼んでいます。

残雪やごうごうと吹く松の風	鬼 城
残雪や赤き実による日ぐれ鳥	石 鼎
越ヶ谷の残雪にをり蕎麦を喰ふ	澄 雄
残雪の急坂に行く奥の院	木 賊
草千里起伏の底に残る雪	佐 知

次に ‘土筆’、いたる所に自生する杉菜（すぎな）の孢子茎、
早春に地上に茎を出す。日当たりの良い堤や、路傍に多く
生じる。摘んで ご飯に炊き込んだり、佃煮にしたりします。
ほろにがく 風味が高い。別に、‘つくしんぼ’、‘つくづくし’、
‘筆の花’ などとも呼んでいます。

つくづくしほうけては日の影ぼうし	召 波
土筆物言はずすすんとのびたり	漱 石
土筆野やよるこぶ母につみあます	かな女
つくづくしこころに寺の跡もあり	千代女
妹よ来よここの土筆は摘まで置く	虚 子

(併)